

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270101553		
法人名	有限会社青森福祉サービス		
事業所名	グループホーム上磯		
所在地 (電話番号)	〒030-1272 青森県青森市小橋字田川93番地1 (電話) 017-761-3080		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 10月 23日	評価確定日	平成 20年 1月 29日

【情報提供票より】(平成 19年 9月 25日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 4月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	26 人
職員数	20 人	常勤 16人, 非常勤 4人, 常勤換算	18.54人

(2) 建物概要

建物構造	木造り		
	1 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	冬季6,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200円			

(4) 利用者の概要(9月 25日現在)

利用者人数	26 名	男性 9 名	女性 17 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	11 名	要介護4	6 名
要介護5	4 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.5 歳	最低 62 歳	最高 96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	森山内科クリニック・仲條歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>ホームの周りには田園風景が広がり、のどかで静かな環境に立地されている。施設の敷地内で畑を作り、入居者の方々と一緒に野菜等を収穫したり食べたり、共に支えながら生活している様子が窺える。また、地域の行事に参加したり、園児が遊びに来たり等交流を図っている。近隣にある他グループホームとも行事等を通じ情報交換も図っている。</p>
--

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>ホームの理念を運営推進会議、職員会議、主任会議等で伝え確認しサービスの向上に努めている。また、入居者、家族、来訪者等にも理念が伝わるよう玄関にも掲示されている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で自己評価に取り組んでいる。外部評価、家族等の意見を踏まえ改善に向け積極的に取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>外部評価の結果報告や改善報告を行い、地域密着型サービスの取り組み等を伝えながら、意見を頂きサービスの向上に努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>面会時や行事、運営推進会議等、家族がいつでも意見、要望を伝えることのできるような体制作りが整っている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域活動への参加、園児等の受け入れ等、入居者、職員が共に楽しみながら、地域とのつながりをとても大切にしている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスとしての意義を管理者及び職員全員にて確認すると共に、地域生活の継続を支えていく為の理念を掲げている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員会議等にて、理念を確認し、ケアについて検討、確認をしながら取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	町内会の回覧等を通じて、地域のイベントに参加したり、幼稚園児が遊びに来たりして地域と交流している。又認知症ケアの啓発に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の内容を理解し、主任会議及び職員会議等を通じてケアサービス向上・継続に努めている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進委員会では、参加者からの質問・意見・要望等を聞くと共に、事業所側から評価結果等について報告し、サービス改善に向けて取り組んでいる。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>問題の解決に向けて行政との意見交換をしつつ、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>利用者に成年後見制度・地域福祉権利擁護制度を利用している方がおり、制度の活用を支援している。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>外部研修等に参加している。また、職員会議や日常業務の中において点検、確認し、防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時や解約時において、理由や説明等を十分に行い、ご本人・家族等に理解、納得して頂けるよう取り組んでいる。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月定期的にホームたより及び報告書等にて利用者の日常生活状況や職員の異動について報告している。また面会時にも報告を行っている。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>運営推進委員会で、意見を集約し、利用者の苦情や不満等について管理者及び職員等を交えた会議で話し合い、解決に向けて取り組んでいる。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>年に1度の職員の異動があるものの入居者への影響を考慮し、日頃から互いのユニット間での交流の機会をもち、なじみの関係を作る配慮がなされている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修など、職員が参加出来る様配慮されている。又研修修了後は、職員会議等にて研修報告がなされ、全職員が閲覧し確認することもできる。		今後は更に内・外部研修等において定期的な勉強会を開催する事が望まれる。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	近隣にある他グループホームとの交流を図るために各施設の行事や地域行事へ参加することで、職員間の交流や意見交換がなされ、研修会等も一緒に行っている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人が馴染みながらサービスの利用が出来る様、ご家族等による面会をして頂くなど徐々に馴染みの関係を築くよう努めている。又同地域の利用者や職員等が関る事で安心感を得る事もあり、馴染みの関係を築けるよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	畑作り等を通して生活の知恵を学ぶ事も多く、感謝するという関係づくりがなされるよう努めている。		利用者と軽作業等を共に行う事により、利用者の喜びや楽しみや不安等について知る事にも繋がり、より共に支えあえる関係づくりをする事が望ましい。


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の関りや会話(言葉や表情等)、また、家族や職員等による検討を通じて、利用者の思いや意向を把握し、本人への確認をしつつ支援に努められている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族との日常の関りの中で要望等を聞き、アセスメント、モニタリング、カンファレンス等を行い、介護計画の作成に活かしている。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	日常の会話等を考慮し、ご本人やご家族の要望を取り入れ、介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人や家族の状況に応じて通院や送迎など柔軟に対応している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望されるかかりつけ医の診療を受けられるよう、主治医との信頼構築を図りつつ支援している。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	緊急時や重度化した際の対応、他サービスへの移行時における事業所の協力・支援について契約時に説明し対応している。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員会議等の折に理念を心に利用者に接しているか確認しつつ、利用者のプライバシーを守る事を常としている。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な流れがあるものの、利用者一人ひとりの体調状態やペースにあわせた支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>献立の盛り付けや・配膳・茶碗拭きなど可能な範囲で行われている。又食事については、食事介助をする職員その他、1人の職員が見守りしつつ利用者と共に食事をしている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週3回、決められた曜日に入浴している。</p>		<p>今後、利用者の入浴希望日や時間等について確認し、利用者の生活習慣や、その時々希望を尊重したサービスが望まれる。</p>
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>会話や日々の生活から得意な事を見出し、一人ひとりの力が発揮出来るよう日課に取り入れている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩・畑作り・花壇づくり・日光浴など戸外に出るようにしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>外部研修・職員会議等を通じ、スタッフ間において点検・確認し、身体拘束を行わないケアに努めている。</p>		<p>身体拘束についてのマニュアル作成及び、外部研修の他内部研修等を通じ、身体拘束についての共有認識を図る事が望ましい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>利用者一人ひとりのその日の状態を把握し、鍵をかけない自由な出入りがされている。外出される入居者に対しては、職員が見守り、付き添いをし、安全面も配慮されている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>利用者と共に定期的に避難訓練が実施されており、また運営推進会議等を通じ、地域の協力が得られるよう話し合われている。</p>		<p>緊急連絡体制を1本化にし、地域の協力が得られるよう地域住民と共に避難訓練をするなど取り組まれる事が望ましい。又、地域・職員を交えた召集訓練の実施や地域協力隊の発足、体制づくりそしてマニュアルの作成等を行う事が望ましい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>利用者一人一人の栄養摂取状況や水分量など把握している。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染症に関する情報収集を行うと共に、取り決め事項を決め早期発見、早期対応に努めている。</p>		<p>感染症に対するマニュアルを見直しすると共に、定期的に内部研修等による勉強会を開催し予防・対策に努められる事が望ましい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>その季節に応じた飾りつけや旬の食事など季節感を意識的に取り入れ、五感に対する働きかけが行われている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>利用者が好みや馴染みの物を持ち込む事ができ、家族等と相談しつつ利用者にとって居心地が良いように配慮されている。</p>		

 は、重点項目。